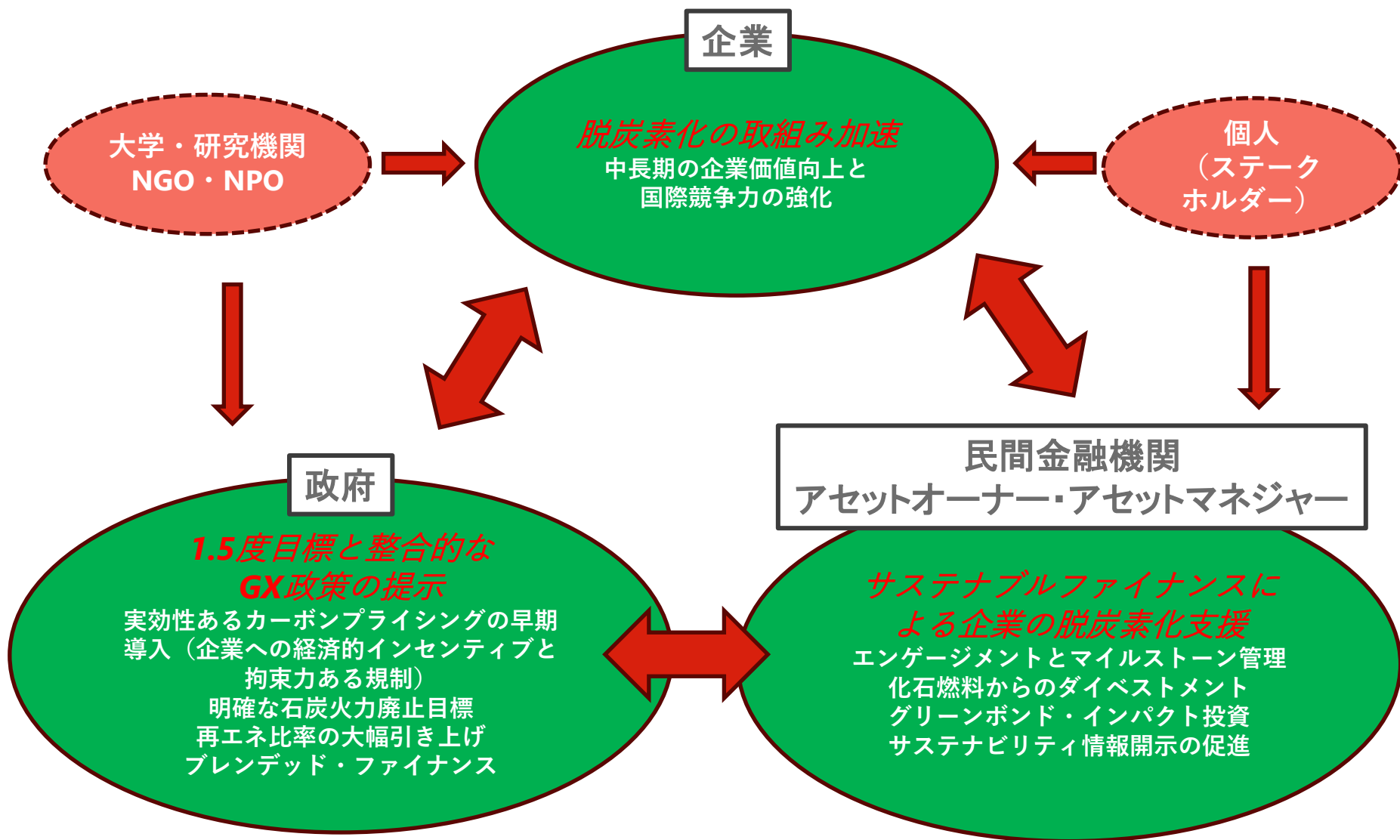


脱炭素化社会実現には官民の有機的協働が不可欠



責任あるアセットオーナーとして必要な気候変動への取組みと課題

– ネットゼロ・ポートフォリオの構築

- アセットオーナーにとってのScope3は投資先ポートフォリオ全体の排出量
- 1.5°C目標と統合的な排出量削減計画に沿ったポートフォリオ構築
- 企業にとって強い削減インセンティブが働く
- *(課題) 企業のGHG排出量データの開示とScope3データの整備・アクセス向上*

– 投資先企業とのエンゲージメントによる脱炭素に向けた協働

- 化石燃料からのダイベストメントだけでは非ESG投資家に株主が移動するだけ
- 長期投資家・パッシブ運用者にとっては保有をしたまま株主価値向上を目指すエンゲージメントが必須
- 企業の脱炭素に向けたロードマップ作成支援とマイルストーン管理の実行
- *(課題) 特に炭素集約型産業の脱炭素に向けた移行をどう進めるか、グリーンウォッシュ排除*
- *(課題) エンゲージメントの効果測定・改善の見込みがない場合のダイベストメントへの移行*

– 気候変動の緩和と適用に資する事業へのインパクト投資の拡大

- 再エネ関連技術・インフラの開発に膨大な資金需要と供給不足⇒魅力的な投資機会
- 投資リターンと社会的リターンの両立が可能なインパクト投資案件の拡大
- *(課題) インパクト投資のメインストリーム化(機関投資家の参加拡大。投資対象の拡大)*
- *(課題) インパクトの測定・評価・マネジメント手法の向上・浸透*
- *(課題) ブレンデッド・ファイナンス(官民共同投資)の一層の拡大*

– その他の重要テーマ

- *(課題) 世界における地政学リスクの拡大がもたらす影響、ステークホルダーとしての個人の役割*